



学校だより

第25号（最終号）



しなやか

令和5年3月24日発行

「一年間を振り返って～挑戦する気持ちを～」—修了式—

いよいよ今日で、令和4年度の全ての活動が終わります。皆さんはこの一年間にどれほど成長したでしょうか。1学期の始業式で、目標を立て、それに向けてコツコツと努力してほしいとお話ししました。その目標は達成できましたか？また、今年度のチャレンジ目標は「あいさつ、返事、トイレのスリッパ」でしたが、目標は達成できましたか。

先ほど、各学年の代表生徒に修了証書を手渡しました。この一年間、皆さんは、先生方の教えを受けて、仲間と協力して、しっかり勉強してきました。修了証書は、皆さん一人ひとりの努力によって、それぞれの学年で身に付けるべきことをきちんと身に付け、次の学年に進級できるという証です。

後ほど、担任の先生から通知表が渡されますが、学習成績ばかりでなく、所見も家族の方と一緒に読んで下さい。担任の先生が、一人ひとりをよく見て書かれています。この春休みには、所見を参考にし、一年間を振り返り、反省すべきこと、さらに伸ばすことをはっきりと自覚し、それぞれの計画に従った充実した生活となることを期待しています。

さて、二週間前に卒業式がありました。卒業式の式辞の中で、バスケットボール日本代表の河村勇輝選手のことを話しました。本校の卒業生でもある河村勇輝選手のことは、皆さんもよく知っていると思います。彼が、中学校時代に全国大会ベスト16で負けてしまった時のことを振り返って、「あの時、悔しい負け方をしたからこそ、『このままじゃ終われない。さらに頑張ろう。』と思えました。負けて良かったとまでは言えないものの、負けたからこそ、今の人生があるのかなと思います。」と述べています。中学校生活の中で、うまくいかないことがあるでしょう。しかし、諦めたらそこで終わりです。みなさんも、先輩である河村選手を見習って、失敗を恐れず、何度も立ち上がり、困難に立ち向かって、挑戦し続けてほしいと思います。

卒業式では、在校生の皆さんに卒業生の姿を見てもらえなかったのが残念でなりませんが、みなさんの先輩たちは大変立派な態度で素晴らしい卒業式を作り上げました。1年後、2年後は皆さんの番です。先輩を越える立派な卒業生になれるよう、これからの日々を大切にしてほしいと思います。

すでに、この二週間、二年生、一年生の学校生活からも、皆さんが、より良い学校にしていこうという姿勢が感じられ、頼もしく思います。今、生徒会役員の皆さんは、来年度のチャレンジ目標を考えてくれています。はっきりと決まって発表されたら、生徒全員でチャレンジ目標が達成されるよう、頑張っていきましょう。

春、三月は別れの時でもあります。先日の卒業式もそうでしたし、皆さんがお世話になった先生の何人かがこの学校を去られます。

先生の異動については、明日の新聞にそのことが載りますが、皆さんがお世話になった先生の恩に報いるためにも、是非、この二週間、気持ちを締め、前向きな姿勢で、三年生、二年生として取り組めるよう、きちんとした生活をしてほしいと思います。

それでは、春休みには、病気や怪我に十分注意して過ごし、四月十日には、全員元気で学校に来るようにして下さい。



一年間、お世話になりました。来年度もよろしく願っています。